
専門工事業の地域における
教育活動に関する実態調査結果

2014 年 12 月

(一社)建設産業専門団体連合会

Contents

■調査の実施概要	2
問 1. 活動の種類	3
問 2. 活動の対象年齢層	3
問 3. 活動の内容	4
問 4. 活動に取り組んだきっかけ・理由	15
問 5. 活動のはじまりについて	15
問 6. 活動の資金の工面	16
問 7. 活動の取組に対する課題	16
問 8. 課題の解決方法	17
問 9. 活動持続のために必要なこと	19
問 10. 今後の予定	19
問 11. 情報・アドバイスなど	19
■アンケート調査票	21

調査の概要

調査の目的：専門工事業の地域における教育活動等の実態把握、及びそのPR活動の資料とするため。

調査対象：①建専連のホームページである「職人さんミュージアム」における「地域への貢献活動(子どもの健全育成・学校支援に関する活動)」に登場して事例を報告頂いた企業・団体
②ホームページには掲載されていなくとも、近年同様の取組を行っている企業・団体

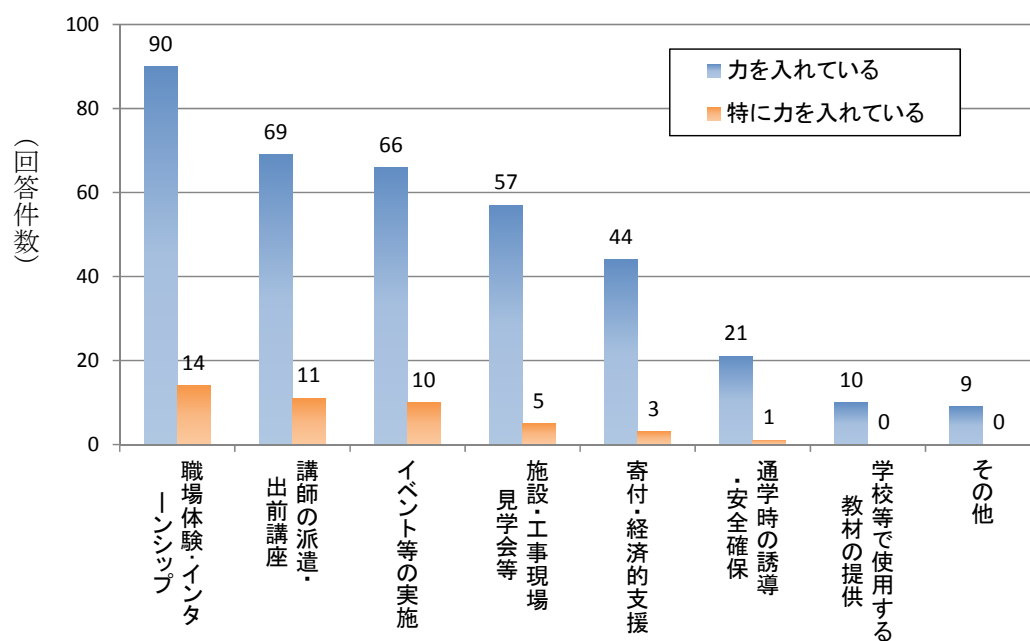
調査期間：2014年9月16日(火)～2014年10月24日(金)

調査方法：発送／電子メール 回収／FAX

有効回収数：総回収 197、うち有効回収数 176

問 1. 活動の種類

項目名	力を入れている活動 (複数回答)		最も力を入れている活動 (単数回答)	
1 職場体験・インターンシップ →活動例 P4	90	51.1%	14	8.0%
2 講師の派遣・出前講座 →活動例 P7	69	39.2%	11	6.3%
3 イベント等の実施 →活動例 P9	66	37.5%	10	5.7%
4 施設・工事現場見学会等 →活動例 P11	57	32.4%	5	2.8%
5 寄付・経済的支援 →活動例 P12	44	25.0%	3	1.7%
6 通学時の誘導・安全確保 →活動例 P13	21	11.9%	1	0.6%
7 学校等で使用する教材の提供 →活動例 P13	10	5.7%	0	0.0%
8 その他 →活動例 P13	9	5.1%	0	0.0%
全体	176	100.0%	176	100.0%



問2. 活動の対象年齢層(複数回答)

項目名	回答数	%
高校生	102	58.0
小学生	88	50.0
大学生、専門学校生	66	37.5
中学生	50	28.4
教職員、保護者	29	16.5
無回答	6	3.4
全体	176	100.0

問3. 活動の内容(記述)

※問3は記述内容をもとに事務局が分類しているため、問1の件数と必ずしも一致しない

1 職場体験・インターンシップの受け入れ

【名称】 職場体験・工事現場見学
【時期】 平成26年7月23日～平成26年7月29日(5日間)
【内容】 当社の仕事内容及び現場を学ぶため職場体験・工事現場見学を行った。高校2年生2名が参加。基礎工事で使用する機械、機材の大きさ、重量等及び機材の購入価格におどろいていた。[基礎/青森県]

【名称】 職場体験・インターンシップの受け入れ
【時期】 大学の夏期休暇期間
【内容】 大学生の夏期期間中(1～2名程度)の約2週間で、職場経験として、現場作業や事務所内での業務を経験してもらう。(植栽工事、管理業務、指定管理業務、図面作成等)
・学生側からは、よい経験になったとの感想文が届く。授業の単位として加算できるらしい。
・受け入れた側としても、他社員への再教育の場となり有意義なものとなる。[造園/宮城県]

【名称】 体験学習
【時期】 9月～11月
【内容】 施工現場見学、現場作業体験を行っている。高校緑地科の生徒2～3名を対象に、体験レポートの提出させている。しかし、原子力発電所爆発事故による避難生徒流出の為、活動中止を余儀なくされているのが現状です。[造園/福島県]

【名称】 高等学校の生徒2名を毎年作業体験受け入れ
【時期】 -
【内容】 実際の作業現場で弊社社員と共に管理作業等を体験させている。芝刈、刈込剪定、施肥、除草等、学科指導では造園の基礎を教えている。[造園/福島県]

【名称】 造園関係都立農業高校(4校)の就業体験(インターンシップ)
【時期】 オリエンテーション7月28日、現場就業体験8月20日と8月22日
【内容】 (一社)東京都造園緑化業協会が毎年造園関係都立農業高校(4校)の就業体験(インターンシップ)を、高校より依頼をされて実施している事業。実際はオリエンテーション・施設見学会1日と現場体験が数日。受け入れ人数は毎年2～3名であり、26年は都立農芸高校の女生徒1名が8月20日と8月22日の2日間就業。現場視察や軽作業等で、大変参考になり喜んで頂いた。[造園/東京都]

【名称】 インターンシップ
【時期】 9月～3月
【内容】 インターンシップを受け入れ、当社の工事及び植物管理の作業体験を行っている。大学生2名 高校生1名 [造園/東京都]

【名称】 平成26年度緑地デザイン科校外委託実習
【時期】 平成26年9月25日(木)～10月1日(水)の5日間
【内容】 緑地デザイン科関連企業におけるの勤労体験学習を行っている。造園に関する知識を技術を学ぶとともに、学校では体験できない社会の仕組みや厳しさ、マナー等を知り、社会人としての心構えを養う。[造園/滋賀県]

【名称】 職場体験
【時期】 11月中の2日間
【内容】 現場と一緒に仕事を体験してもらう。中学生、毎年3人程度、興味があって体験をしに来るので喜ばれる。[造園/山口県]

【名称】 農林高校造園科の生徒インターンシップ受入
【時期】 7月
【内容】 造園工事の職場体験として、農林高校造園科の生徒インターンシップを受入れている。高校2年生が対象。普段学校では体験できない作業を体験していくので良いと思う。生徒も学校ではできない体験なので頑張っていた。[造園/沖縄県]

【名称】 インターンシップの導入
【時期】 2014.8.25～8.29(5日間)
【内容】 インターンシップを導入している。
(参加者)《大学2年(19才)1名女性、3年(20才)1名男性》建築学科
(テーマ)就業体験を通して、当社の仕事内容を理解してもらうと同時に業界への関心と理解を深めてもらう。
(反響・効果)・受け入れる側として、今後の新入社員受入れ時の準備の課題がわかった。
・新入社員を指導する立場の社員の意識向上に役立った。
・大学での学習内容とレベル等が理解出来た。
・学生側としては、この就業体験を通じて仕事の楽しさや社会人としての責任やマナーを学ぶ時が出来、又、就業体験を今後の就職活動や実際に就職した時に活かせるという感想をもらっている。[造園/東京都]

【名称】 ②インターンシップ
【時期】 依頼の都度 対応
【内容】 訓練校の見学及び座学実習の体験、現場見学を実施している。毎年受け入れていて、今年度は都内工業高校1名実施。[造園/東京都]

【名称】 インターシップの受入
【時期】 現在 対象者募集中
【内容】 インターシップの受入を実施している。
【テーマ】 : 専門工事業の役割や仕事内容を知ってもらう
【参加者層】 : 大学生
【参加人数】 : 0名 [造園/埼玉県]

【名称】 インターンシップの受入れ
【時期】 7/末～9/中
【内容】 インターンシップの受入れており、建設業の業界研究のため、各大学から受け入れて現場での作業内容や安全品質のために重要なポイントを教えている。7/末～8/初めに個人申込の受け入れ。8/中～8/末、9/初～9/中の2回に分けて大学からの申込みによる受入れを実施。合計8名を受け入れました。大学での研究に役立てたいとの意見が多かった。[造園/大阪府]

【名称】 学生への就労体験
【時期】 2013年6月29日
【内容】 建設業での就労体験を希望する学生に対して、建築・土木を問わず各作業所で現場での作業体験(1日～1週間程度)を行っている。就労体験後に、入社を希望した学生が現場で活躍している。実際に体験することにより建設業をより一層理解してもらうことに役立っている。[造園/兵庫県]

【名 称】 職場体験・インターンシップの受け入れ
 【時 期】 各学校からの依頼により
 【内 容】 職場体験・インターンシップの受け入れを行っている。養護学校等の生徒が社会でどこまで出来るか？どこまで人と接する事が出来るか？など学校として職場体験を通じ観察することが出来、1人1週間程度で年に1～2名の実施・問合せが有る。[鳶土工／島根県]

【名 称】 職場見学
 【時 期】 毎年9月～
 【内 容】 入社面接会に、職場の見学会を実施します。実際の作業を見てもらい、自分の目で見て「どうゆう作業をしているか」というのをわかってもらう為です。写真や説明会等では、伝わりにくい「現場」の空気を感じてほしいからです。[鳶土工／広島県]

【名 称】 職場体験
 【時 期】 学校で開催される時期に合わせて実施
 【内 容】 就職を控える学生に対し、弊社の職場で作業を説明、見学し、モノ作りについて考えてもらう。人数は毎年3～5名の少数で行う。職場体験を通じ、弊社に入社した人や、学校の先生とコミュニケーションもとれ、情報交換している。[鳶土工／広島県]

【名 称】 職場体験学習
 【時 期】 25年6月
 【内 容】 当社従業員の子供とその友達2人、計3人を対象に、当社作業現場の見学会を開催、仮設材を触ってもらい体験してもらいました。[鳶土工／香川県]

【名 称】 インターンシップ
 【時 期】 9月
 【内 容】 インターンシップ学生の受入れを実施。道立高等技術専門学院の学生を毎年、2～3名工場に受入れ、製造工程を実体験させている。[鉄骨／北海道]

【名 称】 インターシップ
 【時 期】 平成26年9月17日～19日
 【内 容】 釧路工業高校、工業専門学校から1～2名をインターシップとして受入れた。就業体験により、自己の適性や将来設計について考える機会を得ることができる。[鉄骨／北海道]

【名 称】 平成25年度インターンシップ
 【時 期】 平成25年9月3日～9月6日
 【内 容】 生徒の就職意識の高揚、勤労観の育成や学習意欲の向上などを目的にインターンシップを受け入れている。

工業高校2年生3名[鉄骨／北海道]

【名 称】 高校生インターンシップ
 【時 期】 9月2日～4日
 【内 容】 高校生を対象とするインターンシップとして、金属加工の制作を行っている。過去10年以上、毎年、高校生2名が参加。CAD操作の基本から加工、塗装まで体験することで、実社会の厳しさ、おもしろさが解り、大変有意義との感想だった。違う職種でも何かの参考になる。[鉄骨／青森県]

【名 称】 就業体験
 【時 期】 毎年10月下旬頃
 【内 容】 地元の工業高校2年生を対象に3名ほどで3日間の体験学習をしている。工場説明や仕事内容を説明した後実際に溶接や穴あけ加工などの作業を行なっています。安全に作業する為のいろはを感じていただいているようで毎年、工業高校の生徒さんからおたよりを頂いています。[鉄骨／岩手県]

【名 称】 職場体験やインターンシップの受け入れ
 【時 期】 各学校の実施時期に合わせて
 【内 容】 職場体験やインターンシップの受け入れ、鉄骨製作の体験、CAD や一次加工(機械加工)仮組や溶接などを行っている。2人から5人ほどで2～3日間です。製作した椅子や荷台など学校で引き取って頂けるものは寄付しています。[鉄骨／宮城県]

【名 称】 中学生・高校生のインターンシップ受け入れ
 【時 期】 7月～10月
 【内 容】 [地元中学生のインターンシップ(職場体験)受け入れ] 毎年地元の中学校2校から2年生を受け入れ、CADと溶接の体験をしてもらう。今年は、業界紹介DVDを見てもらった。溶接に興味をもった生徒が多かった。これを始めて今年で15年になった。

[工業高校からインターンシップ受け入れ] 毎年機械科の生徒3名程、会社案内や業界紹介などの後に、工場で社員と一緒に簡単に安全な仕事を3日間に渡り体験する。この受け入れをやってきたせいか、今年はこの高校から、弊社への就職希望者が現れた。[鉄骨／福島県]

【名 称】 アジアの海外研修生の受入れ
 【時 期】 2005年～2011年まで毎年1月20頃～2月15日
 【内 容】 アジアからの海外研修生を受入れ、社会的知識、生活習慣、社会人仕事の仕方、コミュニケーションの取り方を指導している。
 ・参加者、1名/1企業、合計50名(市内)
 ・参加者(インターンシップ)の語学力がすぐれている(日本語、英語、中国語)
 ・Report作成等に習得力がある[鉄骨／神奈川県]

【名 称】 体験学習
 【時 期】 -
 【内 容】 各年度、市内中学生2年生を対象に、4日間の体験学習が行われる際に、協力企業として登録させて頂き、弊社では、3名までの枠で受け入れを行っています。活動内容は、実際に工場での作業を体験して頂くのが主体ですが、まずレクレーションの後、工場での作業を1日体験して、その後半日ずつ、電気溶接やガス溶接の体験のあと、最終日には、各自で創作に創作の機会を与え、そこで何か製作させています。結果としては、特に目に見えた反響は残念ながら無い様に感じています。が、業界としての啓蒙及び地域活動のご協力が出来ればと思っています。また、家庭での親御さんのお気持ちや仕事と対価について少しは、理解していただければと思っています。[鉄骨／三重県]

【名 称】 職場体験
 【時 期】 9月頃
 【内 容】 鉄骨を扱う仕事が理解されるように、職場体験を実施している。対象は地元中学生2～3人。[鉄骨／島根県]

【名 称】 インターンシップ(就業体験)
 【時 期】 平成26年2月18日(火)～平成26年2月21日(金)
 【内 容】 インターンシップ(就業体験)を行っている。「ものづくり」をテーマとして、地元の県立商工高等学校の電気建築科1年生3名が参加しました。鉄骨製品が出来るまでの過程ごとに、所謂下手間と単純作業の繰り返しを導入部分として仕事の辛さを感じていました。しかし最終的には、溶接ロボット操作の補助作業や、本棚製作を自身でやり遂げ「ものづくり」の喜びと最新技術を知ることが出来たように思います。[鉄骨／山口県]

【名 称】 インターンシップの受け入れ
【時 期】 6月～7月の間で2週間程度
【内 容】 インターンシップを受け入れている。体験実習をテーマとして、鉄工所の仕事内容を知ってもらうために、施工図、工場組立、溶接、現場と一連の流れを実際に目で見て、可能なところは実際にたづさわって仕事の楽しさ、大変さを理解してもらう。[鉄骨／宮崎県]
【名 称】 インターンシップ受入れ
【時 期】 2013年11月
【内 容】 近隣の高校の行事であるインターンシップの受入れをほぼ毎年行っている。(2013年は3名を受け入れたが、開催は参加を希望する生徒の有無による)2日間の職場体験を通じて「働く」という事を理解していただくとともに、終了後はディスカッションの時間を十分にとり進路・将来について考える助けとなるよう活動している。[建具A／千葉県]
【名 称】 インターンシップの受け入れ
【時 期】 毎年8月
【内 容】 当社では、毎年8月に、学校などのインターンシップ事業に協力し、学生たちを受け入れています。2013年度は、高校から大学までの学生10名を受け入れ、仕事とはどういうものなのか実際に体験することにより学んでいただけたものと思います。[建具A／富山県]
【名 称】 インターンシップの受け入れ
【時 期】 毎年8月
【内 容】 当社では、毎年8月に、学校などのインターンシップ事業に協力し、学生たちを受け入れています。2013年度は、高校から大学までの学生10名を受け入れ、仕事とはどういうものなのか実際に体験することにより学んでいただけたものと思います。[建具A／富山県]
【名 称】 職場見学
【時 期】 H23年2月／H24年2月
【内 容】 職場見学を行っている。京都市立淳風小学校5年生2名(計4名)に、ものづくりの楽しさを知ってもらうため、銅板折鶴の製作を行った。難しさを乗り越え製品を完成させる楽しさを感じてもらえた。[板金／京都府]
【名 称】 塗り壁研修会
【時 期】 平成26年11月22日(予定)
【内 容】 塗り壁研修会を開催している。市内、近郊の高校生を対象に左官の基礎となるコテ使い、塗り壁の体験を通じて左官職への理解と入職促進を行う。20名規模で実施している。[左官／北海道]
【名 称】 職場体験
【時 期】 随時
【内 容】 職場体験を行っている。[タイル／奈良県]
【名 称】 -
【時 期】 -
【内 容】 [タイル／愛媛県]
【名 称】 高等特別支援学校の現場実習
【時 期】 毎年10月と6月
【内 容】 高等特別支援学校の現場実習を行っている。一回の実習期間は2週間(年に2回)で、2～3名の生徒が来ます。具体的には、商品の配達、補充等の作業を行っている。[タイル／沖縄県]

【名 称】 中学生の職場体験学習の受け入れ
【時 期】 平成25年7月17日、18日
【内 容】 中学生の職場体験学習の受け入れを行っている。 [テーマ] 中学生が職場体験学習を通して建設業に興味を持ってもらう事 [参加者] 中学3年生1名 [内容] 1日目 図面の見方、CADの使い方、測量機械の使い方 2日目 施工中現場(一般住宅)の見学、説明[設備／秋田県]
【名 称】 トライやるウィークの生徒受入れ
【時 期】 毎年6月
【内 容】 「トライやるウィーク」の生徒受入れを行っている。地元の中学2年生の職業体験事業の受入企業になり、中学2年生2名を5日間預かっている。[その他／兵庫県]
【名 称】 インターンシップの受け入れ(工務職)
【時 期】 平成26年9月10日～9月17日
【内 容】 工務職のインターンシップの受け入れを行っている。工務職としての現場管理業務及び塗装作業の実習、現場見学を行う。工業高等専門学校生対象(男女不問)とし、本年は4年生男子1名が参加。[その他／島根県]
【名 称】 インターンシップの受け入れ(技術職)
【時 期】 平成26年10月29日～31日予定
【内 容】 技術職のインターンシップの受け入れを行っている。技術職が行う塗装作業の実習及び現場見学を体験。工業高等学校生対象(男女不問)とし、2年生男子4名参加予定。[その他／島根県]
【名 称】 -
【時 期】 随時
【内 容】 職場体験を受け入れている。作業に従事する内容は視察することで理解が深まる。作業する喜び・意欲が湧いてくるように思える。[その他／岡山県]
【名 称】 インターンシップ
【時 期】 毎年2月頃
【内 容】 高校2年生を対象して、1名～2名、約1週間の期間でインターンシップを実施。インターンシップを経験した学生が来年度、高卒で就職することになった。[その他／愛媛県]
【名 称】 職場体験
【時 期】 随時
【内 容】 高校、大学生を対象に、職場体験を受け入れている。実際に働く事の大変さ等を気付いて頂くためだが、お金を頂くありがたさが分かった様です。[その他／福岡県]
【名 称】 職場体験
【時 期】 H26 10月21日～23日まで
【内 容】 職場体験を行っている。[その他／沖縄県]
【名 称】 職場体験学習
【時 期】 6月
【内 容】 2日間、当社において職場体験を実施。その結果について7月には発表会を高校において実施しています。(対象は高校生2名程を毎年受入れています) [-／北海道]

2 講師の派遣・出前講座の実施

【名 称】 農林高校造園科への講義
【時 期】 平成 25 年 10 月
【内 容】 農林高校造園科への講義として、造作物を加工するのに難易度の高い加工法の講義を行った。高校生 10 名が参加。学校では体験できない高度の技術を体験できたので良い。[造園／沖縄県]
【名 称】 安全衛生についての特別教育に講師を派遣
【時 期】 -
【内 容】 安全衛生についての特別教育に講師を派遣[薦土工／北海道]
【名 称】 出前の足場組立講習会
【時 期】 2012 年 10 月、2013 年 2 月、2014 年 2 月
【内 容】 足場組立の講師を派遣し、講習会に全面協力。[薦土工／東京都]
【名 称】 ③工業高校キャラバン
【時 期】 H26、10/30・11/17・12/16
【内 容】 「工業高校キャラバン」と称して、当社職長が建設業に携わる事になったきっかけや現在の仕事の内容を説明。[薦土工／東京都]
【名 称】 布施工科高校出前講座
【時 期】 H25.6.10 H26.6.23
【内 容】 近隣建設躯体工業協同組合と関西鉄筋工業協同組合により工科高校への出前講座を実施している。本年度受講者数は 3 年生 37 名 実施内容は、座学、鉄筋、型枠、鉄骨建方の実技作業体験、圧接作業の実演見学及び体験。以上のような活動に躯体組合の型枠部会長でもある当社は講師の派遣をしております。このような取り組みを通して生徒たちに専門工事業の役割や仕事の内容を知ってもらいまたものづくりに興味をもってもらえればと思います。学校の方からは、来年度以降も続けてほしいと要望があります。[薦土工／大阪府]
【名 称】 布施工科高校への出前講座
【時 期】 2026 年 6 月 23 日
【内 容】 近畿躯体の活動の一環として、出前講座として講師を派遣しています。活動内容等については近畿躯体事務局の方へご連絡下さい。[薦土工／兵庫県]
【名 称】 工業高校への出張教育
【時 期】 10 月～11 月
【内 容】 工業高校への出張教育を実施している。 座学＝とび工事の施工(1 時間) 実技＝とび 3 級(国家試験問題)2 時間 県立工業高校 3 校＝約 120 名受講(1 年生)[薦土工／広島県]
【名 称】 -
【時 期】 不定期
【内 容】 決まった内容はない。要望を受け対応したり、気がついた事に対応している。[鉄骨／長野県]

【名 称】 水資源保全活動
【時 期】 2010 より
【内 容】 水資源保全活動の一環として、地域の営業部門の従業員が、小学校へ赴き、合計 2 時限の授業を実施しています。オリジナル教材を使い、地球の水循環や水問題を通じて「水は限りある資源」であることを認識し、自分たちの暮らしを振り返るきっかけを与える出前授業を実施しています。2010～2013 年度の 4 年間で、延べ 30 支店が 74 回の授業を実施、約 3,900 名の生徒が参加しました。参加した生徒からは、自分たちがいかにたくさんの水を無意識に使っているかが分かったこと、世界の他の国の水事情への驚き、そして、これからはもっと水を大切にしていきたい、という素直な感想が多数寄せられました。 http://www.lixil.co.jp/corporate/csr/society/water.htm [建具 A／東京都]
【名 称】 講師派遣
【時 期】 ①H25 年 2 月②H23 年 9 月
【内 容】 京都市立淳風小学校 6 年生 24 名、京都市立七条中学校 3 年生一堂を対象に講師を派遣し、ものづくりの楽しさを知ってもらうために、銅板レリーフの製作を行った。難しさを乗り越え製品を完成させる楽しさを感じてもらえた。[板金／京都府]
【名 称】 出前ものづくり
【時 期】 平成 25 年 2 月 14 日
【内 容】 出前ものづくり講座として、タイル教室「モザイクタイルの製作」を不動堂小学校で行った。参加者は 68 名。受講した小学生は、ものづくりに向かって楽しく、又真剣に打ち込み、完成品を前にして、大きな喜びに達成感を十分に味わった。 技術の大切さ素晴らしさを理解し豊かな創造力を身に付け、立派な社会人に成長することを期待する。[タイル／宮城県]
【名 称】 出前ものづくり
【時 期】 平成 25 年 11 月 7 日
【内 容】 出前ものづくり講座として、タイル教室「モザイクタイルの製作」を大河原南小学校 5 年生 40 名に実施。[タイル／宮城県]
【名 称】 ものづくり支援事業「手づくりみらい教室」
【時 期】 平成 21 年度より実施 年 2 回 毎年 10～11 月実施
【内 容】 ものづくり体験教室を実施している。「手づくりみらい教室」は、千葉県内の小学 5・6 年生を対象にモザイクタイルにて、30cm 角のベースに 10mm 角のタイルを自作の下絵に沿って色合いを見ながら貼付、最後に目地詰をして完成。きれいに仕上がった作品に子供達が感動した喜びの笑顔を見ると、ものづくりの個性を見出す一貫として、今後も続けて行きます。[タイル／千葉県]
【名 称】 ものづくりマイスター派遣
【時 期】 年 2～3 回 3 月・6 月・11 月頃
【内 容】 ものづくりマイスター派遣を行っている。千葉県立東金高等技術専門校の依頼に基づくもので、専門校の生徒を対象にタイル張りの基本的なものを、3H×5 時間で実習指導して行きます。内装 100 角タイルの墨出、切断加工、接着剤の塗り方、墨に沿って目地合わせしながらのタイル張り、最後に化粧目地仕上げを完成するものです。26/3 月 3 名 26/6 月 8 名[タイル／千葉県]
【名 称】 講師派遣
【時 期】 毎年 5 月
【内 容】 名古屋市立工芸高校に若年技能工を講師として派遣。仕事のやりがいや実際にタイル張りを生徒にしてもらう。[タイル／愛知県]

【名 称】 子供ものづくり体験教室
【時 期】 (26.9.17)
【内 容】 子供ものづくり体験教室を開催して、子供にものづくりの面白さを体験してもらう。実際の教科活動の時間をあてて実施 4 年生 2 クラス 48 名、ほとんどの生徒の声として興味深く、又、やってみたいという感想であった。[タイル／京都府]
【名 称】 大阪府技能士連合会「ものづくり教室」
【時 期】 -
【内 容】 大阪府技能士連合会「ものづくり教室」開催に協力している。[タイル／大阪府]
【名 称】 高校生への社会人としての心得&仕事とは…
【時 期】 -
【内 容】 社会人としての心得&仕事というテーマのもと、高校 1 年生に対して社会人の仕事感についての講話を行っている。[タイル／鳥取県]
【名 称】 ものづくり体験教室(タイル張り)
【時 期】 7 月～9 月
【内 容】 ものづくり体験教室(タイル張り)を実施している。対象は、中学生男女希望者 20～30 名。珍らしく飲んでもらえてる。[タイル／島根県]
【名 称】 小学生ものづくり体験講座
【時 期】 10 月～11 月
【内 容】 小学生ものづくり体験講座を行った。体験内容は「ホットプレートづくり」で、市内小学校 5・6 年生を対象とした。はじめて自分でつくって、とても良かった楽しかったという手紙をいただきました。[タイル／福岡県]
【名 称】 小学校卒業記念壁画
【時 期】 3 月
【内 容】 市内小学校の 6 年生に小学校卒業記念の壁画タイル張りを支援している。小学校 6 年生 54 名が対象。54 名が 150 角タイル 54 枚に絵の具で絵を書いてタイルメーカーに送り、かまで焼き、出来上がったタイルを学校の塀のかべに貼りつけをしてもらう。絵が上手に仕上がり、とても喜んでた。[タイル／福岡県]
【名 称】 特別授業よくわかる瓦屋根講座
【時 期】 3 月
【内 容】 特別授業よくわかる瓦屋根講座を開催している。高校生 40 名弱を対象に、瓦の歴史から景観、瓦の説明、等を行う。反響はよく、瓦のことをよく知ることができたとのこと。[その他／宮城県]
【名 称】 「瓦の話～その伝統の魅力と可能性」
【時 期】 11 月
【内 容】 「瓦の話～その伝統の魅力と可能性」と題して講義した。瓦の歴史や工夫について、大学生 80 名前後を対象とした。学生が卒業後設計の段階で瓦の採用をして頂けるケースが出て来ました。[その他／福島県]
【名 称】 瓦レリーフ作り
【時 期】 8 月
【内 容】 小中学生に瓦レリーフ作りを通して、瓦を知ってもらうための活動を行っている。参加人数は 20 名程。現在は焼成中で年内に完成品を渡します。[その他／栃木県]
【名 称】 良くわかる瓦講座
【時 期】 11 月
【内 容】 足利工業大学にて授業のひとつに取り入れてもらい、瓦に関する講座(良くわかる瓦講座)を開催しました。瓦の歴史や種類・製造・施工方法など、パワーポイントや架台での実技を行った。参加人員 15 人程度[その他／栃木県]

【名 称】 よくわかる瓦講座
【時 期】 通年
【内 容】 「よくわかる瓦講座」と題して、日本の伝統文化である瓦屋根の PR を行っている。[その他／群馬県]
【名 称】 歯磨き講習会
【時 期】 H26・11・16
【内 容】 子供たちに正しい歯磨きと、歯の重要性を学ばせるための歯磨き講習会を開催。参加人数 8 組[その他／千葉県]
【名 称】 「交流事業」瓦講習会
【時 期】 毎年 7 月頃
【内 容】 専門学校建築学科 3 年生を対象に、瓦講習会を開催している。
[瓦座学] 歴史、性能
[瓦実技講習] 生徒さんが製作した屋根架台の上に瓦を実際に葺いて貰う実技講習[その他／東京都]
【名 称】 瓦屋根講座
【時 期】 毎年 6 月
【内 容】 瓦屋根講座を開催。部員による瓦の説明・実演、ビデオ映像放映・PC による 3D 画像での説明、各瓦メーカー様からの紹介を行った。メディア(新聞社 2 社、TV1 社)も参加。高校の授業に組みこんでいただいております。[その他／富山県]
【名 称】 よくわかる！瓦屋根講座
【時 期】 平成 26 年 6 月 18 日(水)
【内 容】 富山県立富山工業高校の建築工学科 2 年生および 40 名を対象に、「よくわかる！瓦屋根講座」を行いました。[その他／富山県]
【名 称】 -
【時 期】 年 1 回 1～2 月の内 90 分程
【内 容】 地元小学校 6 年生の授業(様々な職業の方の話をきけるもの)で「瓦」についての講義・体験(教室でできるチョットした事)を行っている。[その他／石川県]
【名 称】 京都建築専門学校での講師
【時 期】 10 月 16 日
【内 容】 京都建築専門学校において、生徒に瓦の架台を葺いてもらい、それから瓦葺きの説明を行った。[その他／京都府]
【名 称】 ものづくり実演&体験教室
【時 期】 H26 年 9 月 12 日
【内 容】 ものづくり実演&体験教室を開催。小学生 10 名が瓦葺き体験と瓦彫刻を行った。はじめて使う道具をたのしんで体験しました。[その他／兵庫県]
【名 称】 鯪作り体験
【時 期】 毎年 10 月～11 月
【内 容】 地元の小学校 5 年生を対象に、学校へ出張して、粘土から鯪瓦を作り、瓦の講義を行っている。例年 100 名前後参加[その他／兵庫県]
【名 称】 すぐ分かる！瓦屋根講座
【時 期】 平成 21 年 10 月 9 日
【内 容】 奈良女子大学で瓦の話、瓦のガーデニング体験を行った。ゼミの学生が 20 名ほどが参加。初めて瓦に触れる学生が大半で、特にガーデニング体験では興味を持って取り組んでもらった。青年部 7 名で活動した。[その他／奈良県]

【名 称】和歌山工業高校体験授業
 【時 期】1／末～2／初の内4日間
 【内 容】和歌山工業高校において、切妻屋根架台を使用し瓦葺の段取から葺仕舞までの体験授業を実施した。工業高校建築科 1 年生 80 名が参加。学校、生徒さんからの反響も良く、次回で 6 年目となる。[その他／和歌山県]

【名 称】県立和歌山東高校フィールドワーク
 【時 期】11 月中頃
 【内 容】県立和歌山東高校のフィールドワークとして、切妻屋根架台での瓦葺きや地瓦やのし瓦の押切やタガネによる切断体験を行った。高校生 20 人が参加。普段慣れ親しんでいない瓦に意外と興味を示してくれた。今回で 2 回目となる。[その他／和歌山県]

【名 称】瓦屋根講座
 【時 期】2009 年～2011 年秋
 【内 容】瓦に関する知識を身に付けてもらおうと、大学生を対象に出張講座をしました。アンケートを取ったところ「瓦に興味をもった」や「もっと深く知りたい」といった結果が出ました。[その他／広島県]

【名 称】ビジネスカレッジによる瓦施工の授業
 【時 期】H26 年 9 月 26 日
 【内 容】ビジネスカレッジにおいて瓦施工の授業を行っている。生徒数 15 名、青年部講師 12 名。架台 4 台を用いて、手板瓦、日本瓦(和瓦)の葺き方、瓦の特性を説明しながら、生徒に実際に瓦を葺いてもらった。[その他／香川県]

【名 称】瓦講座
 【時 期】1 日
 【内 容】徳島科学技術高校建築科の授業で瓦葺き体験を通して、瓦の良さを知ってもらうための「瓦講座」を開催。30 人～35 人の高校生が参加。実際に墨付け、瓦葺き、釘打ちを体験し、小さな犬小屋程度の屋根を葺き上げてもらうことで、達成感と楽しさと「日本人なら瓦屋根」ということを体で感じてもらう。[その他／徳島県]

【名 称】高知工業高校での瓦の出前授業
 【時 期】H25、1 月
 【内 容】高知工業高校において、架台を使って瓦体験作業(たがね使用しての瓦割り 架台平部、棟部の施工)を行った。高校 3 年生の建築クラスが参加。反響は大変良かった(先生、生徒とも)。[その他／高知県]

3 イベント等の実施

【名 称】第 23 回ひろしまトラックまつり
 【時 期】2014 年 10 月 12 日(日)
 【内 容】「ひろしまトラックまつり」に広島クレーン建設業協同組合として参加し、クレーン 5 台を持ち込み、子供に運転席へオベと同乗し、クレーン操作の体験を行う。スタッフ約 60 名、昨年度の来客数 トラックまつり 20,000 人、クレーン体験者 600 名。建設業における、人員不足をこの体験により関心を子供達に持ってもらい将来の若い人員確保に成る事と思い実施している。「ひろしまトラックまつり」にはその他の建設機械(トラック、フォーク、ショベル等)参加しており、来場者は色々な建設業に関心持ってもらう為には良いイベントだと思っています。[広島土工／広島県]

【名 称】平成 26 年度地域中小企業の人材確保・定着支援事業

【時 期】平成 26 年 11 月 21 日
 【内 容】中小企業の魅力発見バスツアー 地域の将来を担う人材を育成するという視点に立ち、高校と企業がそれぞれに担うべき役割は何なのか議論を深める。高校教職員の参加 就職懇談会、懇親会開催[鉄骨／北海道]

【名 称】第 5 回四高専企業説明会
 【時 期】平成 26 年 11 月 27 日
 【内 容】若手人材確保のため、企業説明会参加。[鉄骨／北海道]

【名 称】第 11 回地場工業展示会(メイド・インくしろ)
 【時 期】平成 27 年 2 月 7 日、8 日
 【内 容】第 11 回地場工業展示会(メイド・インくしろ)に参加し、製品のパネル展示「神社ミニチュア」の組立実演。組立後に会場の皆様の安全と健康を祈念して「もちまき」を行う。[鉄骨／北海道]

【名 称】本人参加による体験活動
 【時 期】1 年中
 【内 容】イベントにおいて、銅板を使用した加工製品づくりを、最少人数で 30 人～50 人、最大で 130 人～150 人を指導している。約 6 年間地元志村四小と新宿西口広場でのものづくりコーナーにおいて年 6 回の活動を行っており、14 年度は 11 月に沖縄でのものづくり活動を行なう予定です。参加者は毎回こちらで人数を指定します。[板金／東京都]

【名 称】夏休み子ども講座「ものづくり体験教室」
 【時 期】H26.7.28
 【内 容】夏休み子ども講座「ものづくり体験教室」を行っている。銅板打ち出し 小学生 30 名と保護者数名参加 ものづくりの楽しさや達成感を体験してもらう。[板金／長崎県]

【名 称】ふれあい教室
 【時 期】適時
 【内 容】「ふれあい教室」と称して、小学校 5～6 年生を対象に約 20～30 名程度銅版でのレリーフを指導しております。[板金／大分県]

【名 称】札幌技能フェスティバル
 【時 期】平成 26 年 8 月 3 日
 【内 容】札幌技能フェスティバルにおいて、実演による技能の素晴らしさ「ものづくり」体験を通じて、作る喜び、完成の感動を伝え、一般市民に技能への感心を喚起する。小中学生から成人まで幅広い年代層約 1,700 人が参加。[左官／北海道]

【名 称】こどものまち「ミニさっぽろ」
 【時 期】平成 26 年 10 月 4 日、5 日
 【内 容】こどものまち「ミニさっぽろ」というイベントで、小学校 3、4 年生に塗り壁体験を通じて職業体験を実施。全体では 3,400 人対象、左官の塗り壁は 96 人が参加。[左官／北海道]

【名 称】ひろしま技能フェア・トラック祭り
 【時 期】－
 【内 容】広島県と広島県職業能力開発協会主催の、広島技能フェアに、広島県左官業協同組合と青年部の協力も得て二日間で小・中学生・高校生 240 名と一般 60 名を対象に漆喰ボール作り体験と、壁塗り体験を実施した。壁塗り体験は女性が以外と多かった。
 中小企業団体中央会主催のトラック祭りも(日曜日)広島県左官業協同組合と青年部の協力を得て、100 名を対象に漆喰ボール(ピカピカのどろ団子)作り体験と、壁塗り体験を実施した。家族連れの参加者が多くみられ親のほうが一生涯懸命に磨いて喜んでた。[左官／広島県]

【名 称】サイクリングロード・トンネルアート作業への協力
 【時 期】平成 26 年 7 月 27 日(日)～8 月 10 日(日)
 【内 容】「サイクリングロード・トンネルアート作業」への協力を行った。地域住民や地元小、中学生が力を合わせ、タイル片を用いたモザイクアートの壁面を完成させる。その壁面に貼る接着法や目地入れ作業、ふき取り作業などをものづくりマスターが指導。完成までに近隣の児童、地域住民ら延べ 600 人が参加。生涯残る作品だけに喜びもひとしおの様子。[タイル／北海道]

【名 称】札幌技能フェスティバル(タイル部会)
 【時 期】平成 26 年 8 月 3 日(日)
 【内 容】札幌技能フェスティバル(タイル部会)において、若年者を対象に「ものづくり」体験ができるコーナーを設けた。作る喜びや完成の感動を実感することにより、多くの市民に技能に対する理解を深めてもらう(職種別部会で体験コーナーを実施)
 ・全体の来場者は 1,086 人で、タイル部会での体験者は 60 人。花台にオリジナルなモザイクを貼る体験コーナーで実施したが「技能への関心を高める」という当初の目的は、達成できたものと考えた。[タイル／北海道]

【名 称】ものづくりマイスターによるものづくり体験
 【時 期】平成 26 年 9 月 20 日(土)
 【内 容】ものづくりマイスターによるものづくり体験を開催。内容は①トンネルアートの壁面にモザイクタイルを貼っている様子を写した DVD の照会とマイスターによる講義、②フォトフレームやレターケースにオリジナルなモザイクタイルを貼る体験実習を行った。参加者は、特別支援学級児童 25 名、教員 7 名、保護者 25 名。
 ・体験に関する児童のアンケートでは、良かった(楽しかった)、初めて体験した、また体験したいという意見が大成を占めた。教員、保護者のアンケートでも、ものづくりの魅力、ものづくりの意義について良く伝わったと思う。全体を通して満足のいく内容だったかとの問いに多くの児童が講話に傾聴、積極的にもものづくり体験に取り組んでいたとの意見が数多く寄せられていた。[タイル／北海道]

【名 称】ふれあい福祉友愛まつり「タイルアート」体験コーナー
 【時 期】平成 26 年 9 月 21 日(日)
 【内 容】ふれあい福祉友愛まつり「タイルアート」体験コーナー設置に協力した。知的に障がいのある人が地域に理解されると共に地域住民、ボランティア等の参加を得て相互に交流を深めながら、本人の社会的自立の促進を図る一助として「タイルアート」体験コーナーを設け実施した。全体の来場者は約 950 人で「タイルアート」体験コーナーでの体験者は 65 人。[タイル／北海道]

【名 称】ものづくりフェスタ in みやぎ 2014 ものづくり体験
 【時 期】平成 26 年 8 月 9 日～11 日
 【内 容】ものづくりフェスタ in みやぎ 2014 ものづくり体験に参加協力した。みやぎの卓越した技能を一堂に会し、その歴史と伝統、文化などの情報を発信するとともに、「ものづくり」の大切さ重要性を広い世代に周知し、技能士の重要性についての認識を高めることにより、技術尊重気運の高揚を図り、更なる技能士の活動、活躍により、地域産業の振興を図ることを目的としている。
 ・親子連れを対象に、ものづくりの体験(コースターづくり)
 ・8/9、300 人 8/10、170 人 8/11、110 人 合計 580 人
 人気一番で家族連れに喜ばれた。[タイル／宮城県]

【名 称】ものづくり体験教室
 【時 期】(26.8.6) (26.8.31)
 【内 容】ものづくり体験教室を開催している。地域の団体向けで行なう時は社会人対象(20 名)、ショッピングセンターで行なう時は不特定(100 名)。ものづくり産業の振興を図るとともに地域住民が技能にふれる機会を提供。概ね、好評で複数回実施も多い。[タイル／京都府]

【名 称】タイルクラフト教室
 【時 期】随時
 【内 容】タイルクラフト教室を実施している。展示会等のイベント時、又は過去においては夏休み中の課題として告知、申し込みを受け、あらかじめ用意した木枠等に、モザイクタイル、又は内装タイルを粉碎した破片を木工ボンドにてはりつける教室を開催した。親子連れで参加があり、公民館行事として広がり、現在も時折、タイルの引き合いがある。[タイル／兵庫県]

【名 称】ふくおか技能フェスティバル博多職人展
 【時 期】7 月 26～29
 【内 容】・(一社)福岡市技能職団体主催の「ふくおか技能フェスティバル博多職人展」に参加協力。各職種で違うが、タイルは親子でコースターづくりを行った。1 日の来場者は多数で、3 日間で 180 人ぐらいに上る。タイルの職人さんが指導してタイルでコースターをつくりもって帰ってもらう、又は品物を買ってもらった。[タイル／福岡県]

【名 称】ものづくり体験教室
 【時 期】11 月
 【内 容】(一社)福岡県技能士会連合会主催の「匠の技 技能継承フェア」において、ものづくり体験教室を行った。対象は、小学生並びに保護者。[タイル／福岡県]

【名 称】「すぐわかる！瓦屋根講座(鬼つくり)」
 【時 期】1 月
 【内 容】「すぐわかる！瓦屋根講座(鬼つくり)」と称して、瓦の説明を行っている。鬼師による指導のもと、実際にねん土から鬼瓦をつくる。対象は、高校生徒～一般の方で、高校生は 35 名～ 一般は 10 名弱が参加。[その他／宮城県]

【名 称】瓦の説明会
 【時 期】平成 26 年 10 月 12 日
 【内 容】学生・教員 13 名を対象に、瓦の説明会を開催した。
 午前: 瓦の経済性・製法・形、瓦のガイドライン工法の説明
 午後: 瓦のワークショップ(学生に屋根の古い瓦を下ろして体験していただいた)[その他／茨城県]

【名 称】 かながわしごとフェスタ
【時 期】 8 月
【内 容】 「かながわしごとフェスタ」に参加し、ねん土を使った型ぬき体験を行っている。
[参加層] 小学生、保護者
[参加人数] 200 人強
[反響] 年々参加人数が増加しています。
[効果] 身近で体験することにより瓦本来を屋根に興味を持って頂いています。[その他／神奈川県]

【名 称】 ものづくりフェア
【時 期】 毎年 10 月頃
【内 容】 技能士会行事の「ものづくりフェア」に瓦組合として参加。[その他／三重県]

【名 称】 青年中央会トントンまつり瓦葺体験瓦割り体験
【時 期】 10 月
【内 容】 瓦の良さを色んな人に PR をする為に、毎年行われる青年中央会主催の祭りに出店しています。子どもから大人まで幅広い年齢層と多業種の方々に、PR ができ、普段触る事がない瓦ですが手に取っていただき実際に施工してもらい瓦のしくみや良さをアピールできたと思います。[その他／福井県]

【名 称】 俺たち屋根屋やねん！in 道頓堀
【時 期】 年 1 回(秋頃)
【内 容】 「俺たち屋根屋やねん！in 道頓堀」というイベントを大阪府瓦商工業協同組合青年部を通して実施。
・テーマは現在また将来に施主様に成り得る人へ瓦組合という団体が存続し屋根に対して真剣に取り組んでいることを知ってもらう。
・第一回:2013/10/27 第二回:2014/9/23
・参加者層:小学生以下から御年配まで
・場所:道頓堀河畔 とんぼりリバーウォーク
・時間:13:00～16:00
・内容:現役職人による施工実演、瓦割り大会、瓦土遊び(型押し)、無料屋根相談会、メーカー展示、スーパーボール遊び(子供対象)
・効果:試行段階。すぐに効果が表れる内容ではないので、5 年継続開催し、効果測定行う予定。
・反響:御参加頂いた方からは楽しかったと声を頂いている。各同業団体からはそれなりに評価を頂いていると感じている。[その他／大阪府]

【名 称】 ものづくりフェア2014
【時 期】 10/31～11/1
【内 容】 ものづくりフェア2014 に参加し、瓦が出来るまでの過程(ねんど～リサイクルまで)、架台による釘打ちの体験、瓦リサイクル品での鉢植え体験を行った。[その他／和歌山県]

【名 称】 まちづくり総合住宅フェア
【時 期】 10 月～11 月の土日
【内 容】 まちづくり総合住宅フェアにおいて、瓦のガイドライン工法等のアピールを行っている。[その他／長崎県]

【名 称】 住宅フェア
【時 期】 3 月 21 日～3 月 23 日
【内 容】 住宅フェアに参加し、粘土瓦のアピールを行った。工務店・地元ビルダー・一般ユーザー1000 名が集まったが、反響はいまいち。[その他／宮崎県]

4 施設・工事現場見学会等の実施

【名 称】 平成 27 年新卒者現場見学会
【時 期】 平成 26 年 10 月 22 日(水)
【内 容】 平成 27 年新卒者現場見学会として、来年の新卒者を現在施工している作業所へ訪問させ、工事概要、作業状況の現地、現実、現物を体験して頂き、ものづくりを感じてもらい(入社に対するフォロー対策とする)。
[瓦土工／北海道]

【名 称】 札幌工業高生現場見学・職種内容紹介
【時 期】 平成 26 年 7 月 9 日
【内 容】 札幌建設業協会と「瓦大工」「型枠大工」「鉄筋」「左官」の四団体により、札幌工業高生を対象に、現場見学・職種内容紹介を実施。目的は、工業高校生に新築現場を見学してもらい、建設業への関心を高めてもらうこと。また四団体の四職種の内容を紹介し、職種ごとのおもしろみを理解して興味をもってもらう(「瓦大工」は足場について解説)。
[瓦土工／北海道]

【名 称】 求人希望者の現場見学会
【時 期】 -
【内 容】 高校、大学卒業予定の求人希望者に対して、仕事内容の説明と現場見学会を行っている。
[瓦土工／北海道]

【名 称】 職場見学会
【時 期】 毎年 7 月～10 月随時
【内 容】 都内における大型建築現場を主体に、実際の現場の雰囲気等を体験して頂きます。今年度の参加者は、全国各地の高校生 12 名と進路指導担当の教諭 2 名。地方では、経験の出来ない大規模な現場を体験する事で、少しでも建設業に興味を持って頂ける事を目的としております。
[瓦土工／東京都]

【名 称】 工事現場見学会
【時 期】 夏休み期間中
【内 容】 工事現場見学会を開催している。
[テーマ]:専門工事業の役割や仕事内容を知ってもらう
[参加者層]:大学生
[参加人数]:1 名
[反響、効果]:仕事内容がわかり好評であった
[瓦土工／埼玉県]

【名 称】 小学生対象現場見学会
【時 期】 2012 年 12 月
【内 容】 国道 42 号線明光橋他橋梁補修工事で和歌山市立和歌浦小学校の 6 年生(34 名)を対象に現場見学会を開催した。見学後の参加した小学生作文には、橋のことがよくわかった、工事していただいた橋を大切にしたい、橋の仕組みがよくわかった、自分達の生活にも関係していることがわかった、橋の下に電気・ガス・水道が通っているのに驚いた、橋は自分たちの生活に必要なとわかった、などの感想があり、建設業が生活に密着していることを理解してもらえた。
[瓦土工／兵庫県]

【名 称】 施設・工事現場見学会等の実施
【時 期】 2 月・3 月 年 2 回程度
【内 容】 新卒予定者への現場見学会を実施し、現場への興味・魅力を感じてもらおう等で新卒者の入社確保をテーマとする。
[瓦土工／島根県]

【名 称】 職場見学会
【時 期】 2014 年 3 月 21 日
【内 容】 職場体験の一環で、職場見学会を実施。従業員の子弟、保護者、学校の知人を合わせ、5 名が参加。参加者が少なすぎた。
[瓦土工／香川県]

【名 称】 職場見学会
【時 期】 10 月
【内 容】 職場見学会の実施。同じく道立高等技術専門学校の学生が 20～30 名ほど、工場見学に訪問している。[鉄骨／北海道]

【名 称】 平成 26 年度現場見学会
【時 期】 平成 26 年 11 月 1 日
【内 容】 豊糠橋の現場見学会を実施した。建設業・専門工事の業務内容の理解、将来の人材確保対策や学校とのコミュニケーション作りを目的に、大学生、教授 23 名が参加した。[鉄骨／北海道]

【名 称】 工事現場見学会の実施
【時 期】 平成 26 年 7 月 30 日(水)
【内 容】 人材確保・育成及び業界 PR を目的に新築現場 2 箇所について見学会を開催した。開催後に実施したアンケートでは、建設中の現場を見る機会が今まで殆どなく、非常に有意義であり、今後も定期的に開催して欲しいとの要望が多く聞かれた。

参加者:宮崎県県土整備部他 7 名
宮崎県立産業技術専門校講師・生徒 33 名
会員企業従業員等 19 名 合計 59 名[鉄骨／宮崎県]

【名 称】 現場見学会
【時 期】 H26.9.17
【内 容】 [現場見学会]
・建設業専門工事業の役割と仕事内容の説明
・実際の現場を見学し工事概要や職長(先輩)からの体験談を聞く
・実際の作業(技能)を体験する
・アンケート回収(座学と違う実物を見て感じるものが多く高感度)[圧接／福岡県]

【名 称】 家族見学会
【時 期】 2014 年 8 月
【内 容】 夏休み期間中、子供を中心とした自社の従業員の家族が対象の工場見学会を実施し、工場での生産活動のみならず、技術部門の研究、環境への取り組み等を体験を通じて知って頂いた。2014 年度初めて行ったイベントであり、今年度は 2 回開催したが初回の反響が非常に大きく、2 回目は応募が殺到し参加者を絞らざるを得ないほどであった。[建具 A／千葉県]

【名 称】 地元小学校工場見学会
【時 期】 2014 年 6 月
【内 容】 加盟している地域の協議会と、地元自治体との共催により近隣の小学校より工場見学を毎年受け入れている。協議会加盟の複数社を一日に見学できるため生徒への教育効果は高く、自治体との信頼関係構築にも効果を発揮し恒例の行事となっている。(2014 年は 2 クラスの参加)[建具 A／千葉県]

【名 称】 工業高校生を対象とした現場見学会
【時 期】 平成 26 年 7 月 9 日
【内 容】 工業高校生を対象とした現場見学会を実施している。札幌建設業協会と鉄筋、型枠、とび、左官の専門工事業 4 団体が、それぞれの業務について、施工中の現場において高校生に説明。
・高校生 80 名・専門職種についてその作業・職務内容が具体的に理解し易く、継続的な開催が要望された。[左官／北海道]

【名 称】 職場見学会
【時 期】 毎年 8 月
【内 容】 職場見学会を市内高校生から 9 月就職活動の一環として依頼があり実施。本年度は 2 名の参加があった。[タイル／愛知県]

【名 称】 -
【時 期】 -
【内 容】 タイル職人の仕事内容の見学(建築工事現場内見学)[タイル／愛媛県]

【名 称】 「水の旅」
【時 期】 毎年 3 月に予定
【内 容】 工業用水の浄水過程や役割を理解してもらう為、浄水場内施設見学、ジャーテスト実演、パワーポイントによる業務内容の説明やユーザの工場見学を行っている。近隣の小学生及び住民が毎回 10～15 名参加。ジャーテスト実演による原水と処理水の濁度の違いには、毎回一様に参加者が驚いたり喜んでいきます。[設備／秋田県]

【名 称】 企業見学・職員企業訪問
【時 期】 未定(学校等の希望に従って)
【内 容】 企業見学・職員企業訪問を実施。職業へ対する理解度 UP 認知度 UP 反響・効果は未だ不明[設備／新潟県]

【名 称】 エコクラブ探検隊
【時 期】 毎年 6 月中
【内 容】 「エコクラブ探検隊」活動は、全国管工事業協同組合連合会青年部協議会における「環境問題研究事業」の一環として、当組合青年部の活動として平成 13 年度より開催しています。「水道」については、小学 4 年生の授業で取り上げられていることから、小学 4 年生を対象に、和歌山市教育委員会(校長会で抽選)の推薦校(毎年 1 校ずつ)で「水のリサイクル」をテーマに、紀の川大堰(国交省)・浄水場(和歌山市水道局)・中央終末処理場(和歌山市水道部)の 3 施設を 1 日がかかりで(バスツアー)見学して、上下水道のしくみと水の大切さを勉強してもらっています。終了後は、作文の投稿をお願いして当組合広報誌「紀の水」に掲載させて頂いています。実施校からは、感謝され好評を博しています。[設備／和歌山県]

5.寄付・経済的支援

【名 称】 尼崎市体育協会への寄付
【時 期】 2014 年 5 月
【内 容】 市民スポーツ祭やマスターズ大会などを通じて、スポーツの健全な普及を図るとともに、ジュニア競技力向上事業として、小中学生の優秀選手を強化し、全国大会等で活躍する選手の育成に取り組んでいる尼崎市体育協会へ賛助会員企業として毎年寄付している。また子どもたちの身の安全を守るために社有車 2 台で「子ども 110 番」として活動している。[葺土工／兵庫県]

【名 称】 -
【時 期】 春～秋
【内 容】 地域の中学生高校生のクラブ活動に対する協賛寄付等出来る事を少しづつさせて頂いています。子供達が弊社に来て、活動のねらいや目標を熱心に説明し、保護者、学校からの依頼により参加させて頂いています[鉄骨／和歌山県]

【名 称】寄付・経済的支援(学校グラウンド整備用トンボの製作・配布)
 【時 期】平成 27 年度 2 月未予定
 【内 容】人材確保・育成及び業界 PR を目的に、会員が製作したトンボを中学・高校を対象に配布する。(配布予定 200 本)以前、同支援を行った際には、子供たちから感謝の手紙を頂いた。[鉄骨／宮崎県]

【名 称】タイル壁画郡山市への寄贈
 【時 期】未定
 【内 容】タイル壁画を郡山市への寄贈する活動を行っている。郡山市内小学校より壁画用の絵を募集し、それに基づき、タイル壁画を制作、市内公園のトイレ等の施設にタイル壁画を張りつける活動です。(郡山市への寄贈)なお、本活動は市内ライオンズクラブとの共催となっています。毎回地元紙に取り上げられ記事掲載されています。[タイル／福島県]

【名 称】産経写真ニュース(産経新聞)
 【時 期】-
 【内 容】産経写真ニュース(産経新聞)を地元小学校へ掲示。[タイル／滋賀県]

【名 称】子供をまもろうプロジェクト
 【時 期】-
 【内 容】「子供をまもろうプロジェクト」活動の一環として、H.24.5.27、警視庁高島平地区で地域住民らと自転車ナビマークの設置を一緒に実施した。5/28 日 日テレ NEWS504 で放映される。
 H.24.4.17(火) 交通安全教育用下敷き 1 万枚を警視庁、交通部長宅に贈呈、各小学校に配布してもらいました。
 H25.5.25(土) 警視庁駒込警察署管内に於いて地域交通安全活動推進委員と交通少年団と一緒に自転車ナビマークの設置を実施した。[設備／東京都]

6 通学時の誘導・安全確保

【名 称】小学校周辺通学路清掃及び道路標識清掃
 【時 期】平成 26 年 4 月 4 日(金)
 【内 容】4 月 7 日の入学式に豊平区内 21 校の小学校の新入学児童が気持ちよく安全に通学できるように通学路清掃と道路標識の清掃作業のボランティアを実施する[鷹土工／北海道]

【名 称】通常時の誘導・安全確保(子供みまもり隊)
 【時 期】平日の通常時間
 【内 容】学校等の通学時間に合わせ車両での巡回実施。危険な場所での声掛け、注意、指導等[鷹土工／島根県]

【名 称】通学路での交通安全沿道啓発活動の実施
 【時 期】5/12～6/19
 【内 容】DID 地区における通学路を選び通学時間帯に交通安全啓発活動を実施した。
 ・参加者数 20 名
 ・通学中の小学生と通行車両に向けた啓発活動を行った結果子供達と地域の通学を見守るボランティア員の方々とのコミュニケーションを高める事が出来た。
 ・作業従事者の安全意識の高上にも有効であった。[設備／北海道]

【名 称】立哨活動
 【時 期】交通安全週間(直近では H26/9/21～30)
 【内 容】立哨活動に協力している。主催は地域。そこに自社として参加協力を行っている。小学校通学路に立ち、見守り活動を行う。[その他／鹿児島県]

7 学校等で使用する教材の提供

【名 称】教材に足場一式贈呈
 【時 期】2012 年 9 月
 【内 容】将来の建設産業を担う人材育成を目的に、最新の足場一式を教材として贈呈した。[鷹土工／東京都]

【名 称】教材の提供
 【時 期】適宜
 【内 容】教材の提供。溶接実習作業に使用する鋼材を適宜、提供し溶接作業を多くできるよう手助けを行っている。[鉄骨／北海道]

【名 称】卒園記念制作
 【時 期】-
 【内 容】地元幼稚園の卒園記念品の材料(タイル等)を提供。モザイク画を制作。[タイル／滋賀県]

8.その他

【名 称】-
 【時 期】春から秋
 【内 容】テーマ:自然とのふれあい
 参加者:地域 学童やまびこクラブ
 参加者数:80 名
 反響:土に親しみ自然の植物に関わり収穫・皆で味を楽しみを得た。[造園／山形県]

【名 称】シニアワークプログラム
 【時 期】平成 24 年 10 月 3 日、10 月 10 日、10 月 17 日、10 月 24 日、10 月 31 日、11 月 7 日
 【内 容】シニアワークプログラムを実施している。
 10/3 草刈と除草剤散布について
 10/10 芝刈と道具の手入れ方法
 10/17 松の手入れ
 10/24 伐採、低木刈込
 10/31 竹垣(四つ目垣)作成
 11/7 草花植付と果樹の剪定
 参加人数は 12 人／日、60 歳以上が中心。松の手入れと果樹の剪定が人気。[造園／埼玉県]

【名 称】ツリークライミングによる自然体験
 【時 期】10 月～5 月
 【内 容】ロープを使用して、ツリークライミングを行なう自然体験プログラムを主催している。自然の中で実施し、自然環境の大切さを教育プログラムとツリークライミングの体験の両方を行うことにより、体験や教育の場とする。1 日最大 40 名、親子を対象に行い子供は小学生以上。リピーターが多いです。[造園／山梨県]

【名 称】剪定教室
 【時 期】4 月下旬
 【内 容】剪定教室を開催。庭の手入れを各自でおこなってもらい樹木に愛着をもってもらい、高齢で作業できなくなれば業務依頼をください。
 40 歳前半から 60 歳前半の 20 人程度を対象。身近な樹木の事を知って楽しかったとのコメントがあった。
 効果:社員(造園1級技能士)が人に教える事により、初心にもどり樹木に接すると共に後輩へ技能の伝達をはかる事を目的にしています。[造園／京都府]

【名 称】	樹木ウォッチング
【時 期】	2 月下旬から 3 月下旬
【内 容】	樹木ウォッチングを実施。樹木が生育していく上で環境がおおきく影響してきます。私たちが住んでいるところから環境を整えていく為にも、住宅周辺に小さな自然を見つけてもらい、害虫駆除の方法あるいは、樹木の育成方法などの一般社会人が直面している問題定義と今後の対策などについて考える場を提供しています。 40 歳前半から 75 歳前半の 10 人程度を対象。いろいろ聞けて楽しかったなど ロコミで毎年同じ方もこられますが、新しい方も参加。[造園／京都府]
【名 称】	地域貢献活動
【時 期】	地域の児童館でイベント等が開催される時
【内 容】	伐採作業等で伐採した木で、子供たちに「木のぬくもり」を感じてもらい、また、木が「生まれ変わる」ことを知ってもらう機会になればと、伐採木を再利用した作品(文鎮、ペンたて等)を提供している。 参加者: 地域の子供(親子等)、約 300 人程度[造園／広島県]
【名 称】	子供育成会との自然再生
【時 期】	平成 22 年～
【内 容】	子供育成会とともに、川沿に地域にあった樹木(花木)を植栽して自然再生を行う。小学生 30 名が参加。 子供達に自然の大切さを知ってもらい協働で作業を行うことの大切さを体験してもらう。[造園／沖縄県]
【名 称】	小学生への環境学習
【時 期】	平成 25 年 5 月
【内 容】	小学生への環境学習として、学校周辺の自然観察及び在来ツツジのさし木体験を行っている。小学生 4 年生 25 名が参加。学校周辺の自然を観察して、環境の大切さ樹木の名前役割等を知ってもらう。[造園／沖縄県]
【名 称】	出所者の就労支援を実施
【時 期】	-
【内 容】	出所者の就労支援を実施[薦土工／北海道]
【名 称】	はちみつを使った商品の販売
【時 期】	-
【内 容】	はちみつを使った商品の販売[薦土工／北海道]
【名 称】	生活困窮者に就労訓練の実施
【時 期】	-
【内 容】	生活困窮者に就労訓練の実施[薦土工／北海道]
【名 称】	ファミリーホームスミールヒュース
【時 期】	通年
【内 容】	小学生を対象とした(約 10 名)養護施設の運営手伝いをおこなっている。 ①学園内の草刈り②春は畑を子供達と作り秋に収穫祭を行なう③夏休み中のキャンプ④お盆 園内での盆踊り大会会場作り又運営。[薦土工／北海道]
【名 称】	現場作業紹介ビデオ公開
【時 期】	9 月～
【内 容】	管内の高卒者・退職自衛官向けの業者合同説明会にて現場作業ビデオを公開。作業内容を動画にて具体的に紹介し、建設作業に多くの人に興味をもってもらおうと思っております。[薦土工／北海道]

【名 称】	①鈴木職業訓練校(都知事認定)
【時 期】	毎年 4/1～2/末頃
【内 容】	鈴木職業訓練校(都知事認定)を設置して、1600 時間の座学・実習を行い、玉掛、研削といし(特教)、5t 未満クレーン(特教)の資格取得の他 2 月初めには技能照査を実施している。技能照査合格後、各現場へ配属している。平成 6 年から実施しており、今年で 21 期生となる。[薦土工／東京都]
【名 称】	平成 26 年度女性スキルアップ再就職支援事業
【時 期】	平成 26 年 10 月 24 日
【内 容】	「女性のチカラ」を求める企業 再就職者支援 企業の可能性が広がる人材確保 「生活の場」を探す女性と交流できる[鉄骨／北海道]
【名 称】	移動献血車「ひまわり号」による献血
【時 期】	平成 26 年 4 月 10 日、10 月 21 日
【内 容】	献血の受付場所の提供、当社社員、廻りの企業に献血の協力呼びかけ(年 3 回)[鉄骨／北海道]
【名 称】	栗中ブースタークラブ
【時 期】	年間通して
【内 容】	「栗中ブースタークラブ」という栗東中学校支援地域本部事業をサポート。環境整備、学習環境支援、通学マナーアップ等を実施。[タイル／滋賀県]
【名 称】	ふくおか不登校フォーラム
【時 期】	6 月
【内 容】	ふくおか不登校フォーラム実行委員会主催の「ふくおか不登校フォーラム」に協力。不登校児童生徒の保護者が 2 日間で約 800 名。坂本会長が「15 才からのハローワーク(匠の世界を知ろう)」と題して講演。一人で悩んでいましたが、気持ち明るく軽くなりましたという声が多数ありました。[タイル／福岡県]
【名 称】	地域貢献活動(ボランティア活動)
【時 期】	12 月
【内 容】	市域の小中学校及び保育園における水道施設の点検補修を年 1 回全組合員で行う。 参加者、組合員 31 名(若年層が多い) 対象学校 15 校(毎年平均) ※特に凍結する冬期間の水道管の扱い方等、大変喜ばれている。 ※学校施設の老朽化が進む中、修繕等毎年期待されている[設備／長野県]
【名 称】	教育施設等修繕奉仕作業
【時 期】	毎年夏休み(平成 26 年 8 月 7 日実施済)
【内 容】	各施設の水漏れ等を組合員 40 社が修繕し、子供たちが快適に学校生活が送れるよう、奉仕作業を実施しています。又、水の大切さやありがたさを伝える事で節水意識を高めています。[設備／滋賀県]

問4. 活動に取り組んだきっかけ・理由（複数回答）

項目名	回答数	%
建設業・専門工事業の周知	125	71.0
将来に向けての若手人材確保対策	101	57.4
企業・業界のイメージアップ	98	55.7
学校や地域とのコミュニケーション	95	54.0
従業員のモラル向上、社内活性化	27	15.3
新たなビジネスチャンスへの期待	14	8.0
経営者のこだわり	14	8.0
● その他	7	4.0
無回答	8	4.5
全体	176	100.0

その他の記述から

社会貢献[造園/埼玉県]

関係団体からの依頼[板金/長崎県]

県と地域技能士会からの要請により[板金/大分県]

ハローワークからの要請[タイ/奈良県]

知り合いにすすめられて協力してみようと思ったから[タイ/沖縄県]

甲賀市管工事協同組合の存在 PR[設備/滋賀県]

瓦について知ってもらいたい[その他/東京都]

社会貢献[造園/埼玉県]

関係団体からの依頼[板金/長崎県]

問5. 活動のはじまりについて（複数回答）

項目名	回答数	%
所属する団体等からの要請	74	42.0
自発的にはじめた	67	38.1
他社から誘われて	7	4.0
● その他	27	15.3
無回答	8	4.5
全体	176	100.0

その他の記述から

町からの教育文化の講座から要請[造園/京都府]

エコアクション 21(環境省) 申請認定に伴い活動開始[造園/広島県]

札幌協と四団体は、10 年ほど、若年者入職について懇談している[葺土工/北海道]

学校や東京商工会議所からの依頼[葺土工/東京都]

学校からの要請により[葺土工/東京都]

建設業に対して理解を深めたい[葺土工/兵庫県]

従業員からの希望でした[葺土工/香川県]

地元の工業高校やハローワークの要請により[鉄骨/岩手県]

各学校からの問い合わせによりはじめた[鉄骨/宮城県]

地域 PTA 様の要望より[鉄骨/三重県]

地域の子供達、保護者、先生等からの依頼により[鉄骨/和歌山県]

学校からの要請[鉄骨/島根県]

地域からの要請[タイ/滋賀県]

職業能力開発協会からの依頼[タイ/京都府]

タイ職人の若手(後継者)が育っていないため[タイ/愛媛県]

学校より職場体験がしたいとの要請[タイ/愛媛県]

知り合いにすすめられて!![タイ/沖縄県]

学校等の依頼により[設備/新潟県]

学校からの要請[その他/石川県]

問6. 活動の資金の工面（複数回答）

項目名	回答数	%
自己で負担	116	65.9
団体等からの支援	49	27.8
助成金等の活用	25	14.2
相手先(受入先等)が負担	6	3.4
その他	6	3.4
無回答	5	2.8
全体	176	100.0

助成金などの種類

山梨県建設業新分野進出支援緊急強化事業費補助金
[(株)津々美造園/造園/山梨県]

建設業振興基金キャリアレッスン支援助成金[向井建設(株)/鳶土工/東京都]

建設労働者確保育成事業[(協)宮崎県鉄構工業会/鉄骨/宮崎県]

東京都ものづくり、全技連からの[堀田工業(株)/板金/東京都]

若年技能者人材育成支援事業[札幌タイル煉瓦工事組合/タイル/北海道]

中央会等[東京タイル築炉業協同組合/タイル/東京都]

その他の記述から

手先と自己で半々[造園/埼玉県]

大学側が負担[鳶土工/東京都]

近畿躯体負担[鳶土工/兵庫県]

組合が材料費程度を負担し、会員は無償でトンボを制作する。[鉄骨/宮崎県]

組合負担で実施[設備/滋賀県]

問7. 活動の取り組みに関する課題（複数回答）

項目名	回答数	%
手間・時間がかかる	95	54.0
安全面への配慮	76	43.2
学校側との調整・連携が困難	49	27.8
予算がかかる	49	27.8
魅力的なプログラムを作るのが困難	44	25.0
社内の合意形成が困難	15	8.5
情報やノウハウが少ない	13	7.4
連携できる団体が無い、少ない	9	5.1
社会的意義を感じるのが困難	8	4.5
その他	8	4.5
特になし	14	8.0
無回答	4	2.3
全体	176	100.0

その他の記述から

夏期間限定のため、受け入れ期間に作業工程が合わないことがある[造園/宮城県]

教える側と教わる側にギャップがある[造園/福島県]

年々参加のお子様が満足されているのか把握し辛く内容の検討に危惧している[鉄骨/三重県]

支援頂いている団体との調整や、絵を募集する小学校の選定など[タイル/福島県]

膨大な修繕が発生した場合の対応[設備/滋賀県]

要請がきた時に協力する[その他/北海道]

人員の確保[その他/三重県]

社内の実態・規模にあたいする団体との連携 どんな助成金があるのかわからない、又それらを調べる余裕もない[その他/岡山県]

問8. 課題の解決方法（記述）

すべての作業が受け入れ期間にできるわけではないことを理解してもらい、植栽管理業務、指定管理業務等、当社の業務で学生が携われそうな内容を調整してプログラムを組んでいる。全社員でバックアップしながら進めている。[\[造園/宮城県\]](#)

生徒の体験工種に制約があり、且つ安全面への配慮に苦労した。[\[造園/福島県\]](#)

- 1.なるべく身近な興味のありそうな事を交えて話す。
- 2.全員に問題を出して考えさせ、一人ずつ答えさせる。
- 3.テキストを一人ずつ交代で読ませる。
- 4.最後にテストをする。[\[造園/福島県\]](#)

現場視察や危険を伴わない軽作業に従事してもらった。[\[造園/東京都\]](#)

実施する時間や期間に工夫を講じた。一般社会人が剪定作業を行う前にまず講習会を行う事にした。当初は、講座の期日が2月中程から3月下旬で樹木においては、落葉樹など葉が無いので講義しにくかった。この時期を少しずらすことにより、新芽或いは若葉の新緑を用い講義することにより参加者が新鮮な気持ちで講義を聴き非常に効果が上がった。[\[造園/京都府\]](#)

伐採木で作成できる作品等考案し、社員の協力を得た。[\[造園/広島県\]](#)

安全への説明と道具の点検[\[造園/山口県\]](#)

学校、子供育成会との日程調整を行った。[\[造園/沖縄県\]](#)

対応する「助成金」がほしい。[\[靄土工/北海道\]](#)

業界の各団体活動の横のつながりを深める委員会の立上げを計画している[\[靄土工/北海道\]](#)

1. 現在は、四団体ではなく、「建専連北海道」として活動している。
2. 「建専連北海道」として、助成金・補助金を活用していく。※平成26年10月末に、専門工事業紹介漫画本(まず四職種)が完成する。[\[靄土工/北海道\]](#)

- ・対象となる現場・元請会社を選び、事前に活動の趣旨を説明した。
- ・コンクリート打設等の工程に併せた時期に設置した。
- ・元請の所長との面談や講話、仕事のポイント等を説明して頂いた。[\[靄土工/東京都\]](#)

・インターンシップ日報の提出が毎日義務付けられていたので日々の理解度や課題が浮きぼりにされ、指導しやすかった。安全面や時間的な問題もあり、実際に建設中の現場を見学させる事が出来なかったが、今後は現場を見せる事でより一層の建設業界への関心を高めてもらえる様に可能な限り対応して行きたい。[\[靄土工/東京都\]](#)

①助成金を活用

②機材を提供していただける会社と共同支援。

1. スギヤマ 2. (株)杉孝[\[靄土工/東京都\]](#)

①鈴木職業訓練校 助成金申請(東京都職業訓練事業補助金申請)助成金申請(キャリア形成促進助成金申請)

②インターンシップ 高校からの要望に対応した(費用は参加した本人負担)

③工業高校キャラバン 建設業振興基金から支援有[\[靄土工/東京都\]](#)

天候に左右される事が少ない様に、対応したプログラムを作る事に苦労した。工程により、参加時期により経験できる内容が違ったので、そういった部分をカバーできる工夫をしていきたい。[\[靄土工/大阪府\]](#)

・具体的メリットを明確にした→工事成績の評点・実施する時期や期間に工夫を講じた→現場の工程に余裕があるときに実施・安全面への配慮→危険作業をしていない時に実施[\[靄土工/兵庫県\]](#)

現場と同じ形式で作業標準等を作成し作業に対するポイント、注意事項等イラストにして高校生でもわかる様にしてケガのない様に心掛けている。[\[靄土工/兵庫県\]](#)

- 1) 広島クレーン建設業(協)での参加人員確保の為、各組合員に対して参加要請を行なった。
- 2) 人員不足を補う為各クレーンメーカー(加藤、タダノ、KOBELCO)に参加要請し、参加してもらった。
- 3) 各クレーンメーカーにノベルティグッズを提供してもらい、イベント参加者(子供)に配布した。[\[靄土工/広島県\]](#)

座学に関して ・最初はオーバーヘッドプロジェクターで行なっていたが、液晶プロジェクターで多くのデータを提供できる様になった ・工事現場の写真を多く使用することで生徒も興味を持って受講している[\[靄土工/広島県\]](#)

工場見学と現場見学を実施するため、工場見学の場合は工場内の騒音が大きい為、トランシーバーを使い説明内容が見学者に良く聞こえるようにし、説明内容を良く理解してもらえるようにしています。現場見学会は、今回初めての実施なので学校側との事前連絡、現場責任者との調整や現場見学実施当日の天候を意識する等事前対策に気を使っています。また、安全対策には特に気をつけており、見学者に協力頂くよう、実施しています。[\[鉄骨/北海道\]](#)

特に課題解決のために講じた措置等はありません。[\[鉄骨/福島県\]](#)

・海外から渡航にあたり、日本語の修得を終えていること・宿泊地、国体(送り出し)が政府系であること等、信頼出来る機関のこと・継続的に出来る企画を持っていること・資金の負担をこちらでしないこと[\[鉄骨/神奈川県\]](#)

最初の頃は、参加していただいた、中学生がまず仕事の辛さや、親御さんの気持ちやお金の大切さやモラルなどを解ってもらえる様にと企画していましたが、ただのアルバイト感覚で終わってしまうのではと感じてからは、個々に自主性を尊重させるようにと考え、カリキュラムを変更しております。また、業界のPRができるようにと様々な資料を解りやすく伝えてあげたいと考えています。[\[鉄骨/三重県\]](#)

社内の環境整備を行ない、安心・安全に働ける場所と作業内容を提供した。[\[鉄骨/山口県\]](#)

《学校側との調整や連携が難しい》・現場見学会の実施に際しては、現場工程の状況と学校のスケジュールとを調整する必要があり、日程の調整が難しかったが、組合、学校、現場担当者が連絡を密にすることで、スムーズに進行することが出来た。

《予算がかかる》・建設業界は担い手が少なく、人材確保が重要な課題となっていることから、様々な助成金制度が施されている。その中で団体事業主が対象となる「若年者に魅力ある職場づくり事業(建設労働者確保育成事業)」に今年度は取り組んでおり、その中の事業として、現場見学会を開催した。

《安全面への配慮》・注意事項(服装・ヘルメットの着用・水分補給等)を書いた文書を事前に参加者に送付し、注意を促すと共に、全参加者を対象とした行事保険(当日のみ有効)に加入した。[\[鉄骨/宮崎県\]](#)

各部門から参加者を募った準備委員会を組織し、打ち合わせや事前の見学ルート確認を数度にわたり入念に行った。また、小中学生までの単独参加は認めず、必ず保護者同伴とし安全面の注意を確実なものとした。[\[建具 A/千葉県\]](#)

資材準備に気をつけております。[\[建具 A/東京都\]](#)

・小学校に関する活動では地域とのコミュニケーションに重点をおき先生方とのプログラム等で常に魅力と興味と実際に役に立つ製品を提供し続けることを心がけています。

・新宿西口広場の東京都ものづくりフェアー、全国技能士連合会での参加では展示と体験を実演しています。[\[板金/東京都\]](#)

時間的な制約があり、短時間では難しい事を所属団体に要請している。[板金/大分県]

当組合のマイスターは、OB組が2人、現役組が2人の4人を登録している。学校との調整の中では平日の授業時間に合せて実施を希望する所が多く、平日に日程が組まれた場合には、OBに出席してもらい、それ以外の日については、現役を含めたマイスターで調整をしながら実施している。[タイル/北海道]

講師派遣は時間や手間がかかるので安定的な助成金があれば良い。又、実際の職場体験では元請さんの理解が無いと足場や現場内へも入場できない。[タイル/愛知県]

1)ものづくり、特に建設技能者の不足が顕著になり、公からの材料費の負担等が為されて来ています。今までは各業者、業界のボランティア活動が、組合、学校、大阪府の助成金にて少しでも、子供(学生)達がものづくりに接して将来の職業の選択に関われれば良いと感じています。[タイル/大阪府]

タイルに対する親しみやすさを持ってもらう効果はあったとは思われるが、仕事として取り組むまでの意識に至るまでには遠い。行政より、職人さん作りの仕組み援助、教育機関が望まれる。[タイル/兵庫県]

建設現場なので危険が共なうので危険でない作業の日程を調整して実施した[タイル/愛媛県]

技能士会や技能職団体経由で実行したのでスムーズにいつている[タイル/福岡県]

安全面 安全な現場の選定。ヘルメット等の保護具の準備・魅力的なプログラム 教えた後は、できる限り体験できるようにした(CADを使って図面を書かせる等)[設備/秋田県]

- ・チラシを作成した
- ・小学校に対してチラシの配布等で積極的に参加を呼びかけた。
- ・教育委員会に対して各学校へ参加する様協力依頼した。
- ・町内会に対して参加を呼びかけた。
- ・ホームページで参加を呼びかけた。[設備/秋田県]

- 1.協会内に於ける専門委員会の年間行事とした。
- 2.警視庁と連携を取り、地域との調整を実施した。[設備/東京都]

上水道課を通じて教育委員会に各施設の現状調査をして頂き、日程を集中して調整し、半日で各分担し作業しました。各施設には、安全で正しい使用方法を指導し、水の大切さを感じて頂くよう説明した。[設備/滋賀県]

学校の他の行事との関係で、実施時期について学校側に協力を要請した。[設備/和歌山県]

予算を学校につけていただけないので積極的に助成金を活用した[その他/宮城県]

異業種との交流による情報交換[その他/福島県]

手間・時間の削減のため、電話の回数を減らしメールでの連絡を多くした[その他/茨城県]

助成金を活用しました[その他/群馬県]

初めて 2 回という事もありそこまで達していません[その他/神奈川県]

学生を対象としてきたが、飽きさせないように実技体験の時間を増やして取り組んだ。[その他/富山県]

- ・予算的に団体からの支援だけでは厳しいので、瓦メーカーに折衝し趣旨に共感頂いた企業様から協賛を頂いている。
- ・人的支援は親会へ協力依頼を出している。
- ・プログラムは他団体のイベントを参考に考えている。[その他/大阪府]

たのしんでもらえるために(おみやげができる)ように考えるのがむずかしかった。[その他/兵庫県]

瓦自体をより認知してもらうために、家で身近なガーデニングで利用できる瓦を使用した。[その他/奈良県]

学生達に伝えたい事をどう伝えるか試行錯誤しながら授業後アンケートをもらい次回に今もなお繋げている。[その他/和歌山県]

- ・インターンシップでの学校での保険加入(傷害賠償)状況を把握し、不足分は自社で任意加入して補った。
- ・安全教育等の講習を行い、参加者の安全への意識を深めさせた。[その他/島根県]

瓦メーカーからの協力を頂いた。[その他/広島県]

①学校側授業可能な時期と我々瓦組組合員の忙しい時期が重なり調整が難しかったが各組合が積極的に参加してくれたのでなんとか授業を行う事が出来ました。

②ポリテクカレッジの先生との人脈を作るのに建築工会との異業種交流会に参加して、建築工会の人達に紹介してもらった。(前青年部長から2年かかった)

③今回は青年部だけで行ったが瓦施工組合親部にも状況を報告して、活動に参加してもらう用に要請した。(特に予算面)[その他/香川県]

- ・高校での瓦講座で、教室では、材料が多いのと重量があるので、運搬に手間がかかるので、春か秋の気候の良い日の軽トラックが横付けできる、屋外屋根付きの所で行った。
- ・授業後の廃材処分は学校側で行ってもらった。

・資料の部数、コピーは学校側で行ってもらった。[その他/徳島県]

安全面で、普段よりも一層安全面に気を配る[その他/愛媛県]

- ・仮設足場の設置に工夫を講じた。(隙間をなるべく作らず、通常よりも建物に近づけ設置)
- ・手間はとられるが将来の事を考えると、そこは惜しむ所ではないと割り切って体験して頂いている。[その他/福岡県]

瓦メーカーに依頼し、パンフレット、見本瓦のディスプレイの協力をもらった[その他/宮崎県]

問9. 活動持続のために必要なこと(複数回答)

項目名	回答数	%
学校や教員等の賛同、協力	101	57.4
同業者、業界団体等の賛同、協力	90	51.1
行政や地域の賛同、協力	86	48.9
社員の協力	72	40.9
活動に対する資金等の援助	70	39.8
活動に対する積極的な評価	44	25.0
●その他	6	3.4
無回答	7	4.0
全体	176	100.0

その他の記述から

社会福祉法人を立ち上げ中です[[鳶土工/北海道](#)]

安全面と請負う我々の個々の気概[[鉄骨/三重県](#)]

特に大きな問題はございません。[[建具 A/東京都](#)]

職人の社会的地位の向上[[タイル/兵庫県](#)]

地元組合として子供たちの未来に夢を与えられるよう取り組み事が大切だと思います。[[設備/滋賀県](#)]

資本[[その他/宮崎県](#)]

自分自身の考え方を变えること[[その他/鹿児島県](#)]

社会福祉法人を立ち上げ中です[[鳶土工/北海道](#)]

問 10. 今後の予定(単数回答)

項目名	回答数	%
今後も継続していく	155	88.1
今後は行わない	1	0.6
わからない	16	9.1
無回答	4	2.3
全体	176	100.0

問 11. 情報・アドバイスなど(記述)

学校を定期的に訪問しコミュニケーションを計り、継続していきたいと思います。[[基礎/青森県](#)]

インターンシップの受け入れ[[造園/宮城県](#)]

生徒の避難地区からの帰還がないと継続に難がある。
[[造園/福島県](#)]

造園マイスターに登録したので、小中学生にも活動を広げる[[造園/福島県](#)]

定期的に協会より、都立農業高校のインターンシップの依頼が有ります[[造園/東京都](#)]

インターンシップの受け入れ[[造園/東京都](#)]

インターンシップの受け入れ[[造園/埼玉県](#)]

年間、3〜5 回程度の開催[[造園/山梨県](#)]

NPO 法人の企業会員に入会しており、そこでの社会貢献活動も続けていきます[[造園/滋賀県](#)]

自然体でいく[[造園/山口県](#)]

植物をあつかうので結果として継続していく必要がある
[[造園/沖縄県](#)]

建設業専門工事業の役割や仕事内容を理解してもらう
[[鳶土工/北海道](#)]

現場見学会・職種紹介を進めていく。[[鳶土工/北海道](#)]

求人希望者の現場見学会、献血活動、歩道清掃活動
[[鳶土工/北海道](#)]

建設業に魅力を感じてもらおう活動[[鳶土工/東京都](#)]

学校(大学・高校)に対し、インターンシップ導入登録を実施した[[鳶土工/東京都](#)]

なるべく要望に答えられるように継続予定[[鳶土工/東京都](#)]

内容の充実を計り年 1 回実施[[鳶土工/大阪府](#)]

近畿軀体の行事に組み込まれている。[\[鳶土工/兵庫県\]](#)

毎年「ひろしまトラックまつり」に参加し、建設業に関心を持ってもらう[[鳶土工/広島県](#)]

現在、検討中だが、若年者を採用する為に何かしらの行動は必要と思う。[\[鳶土工/広島県\]](#)

社用車(大型、大型特種)など近隣にも迷惑をかけているので少しでも地元で協力したいです[[鳶土工/香川県](#)]

地場工学展示会(メイドインくしろ)の出展と、モノ作り体験、工業高校、工業専門学校とのインターンシップの継続[[鉄骨/北海道](#)]

これまでと同様に[[鉄骨/岩手県](#)]

地域や請いにさせて頂いている方の依頼があればできる努力をして行きたいと考えています。[\[鉄骨/三重県\]](#)

業界団体と連携を取りながら若手人材育成でできればと思う[[鉄骨/宮崎県](#)]

現場見学会の開催や技術講習会の開催、学校支援事業等[[鉄骨/宮崎県](#)]

建設業専門工事業の役割やすばらしさを出前講座や体験実習等々で PR 活動を行う[[圧接/福岡県](#)]

従来の活動の継続と、2014 年新規に行った行事の定例化[[建具 A/千葉県](#)]

企業責任として継続いたします。[\[建具 A/東京都\]](#)

インターンシップの継続受け入れ[[建具 A/富山県](#)]

年 4 回の活動には組合からの協力と参加者の熱意があれば続けられる[[板金/東京都](#)]

「ものづくり」の現場を見る機会や体験できる機会が乏しい現状から少しでも関心をもってもらえる様活動を続けて行きたい。[\[タイル/北海道\]](#)

千葉県職業能力開発協会及び千葉県技能士会連合会との情報を密にして行く[[タイル/千葉県](#)]

京都府職業能力開発協会の担当者と連携[[タイル/京都府](#)]

ものづくり教室。現場見学。[\[タイル/大阪府\]](#)

タイルに興味を持ってもらう活動[[タイル/兵庫県](#)]

実際に体験して作っていくおもしろさを体感してほしい[[タイル/愛媛県](#)]

支援学校からの依頼がある限り、続けていきたいと思う[[タイル/沖縄県](#)]

通学路の安全確保の取り組みを実施予定[[設備/北海道](#)]

「水の旅」単独開催ではなく、他のイベントと共催していく等、工夫しながら継続していきたい。[\[設備/秋田県\]](#)

ボランティア活動(前年同様)[[設備/長野県](#)]

学校等の要望に従いフレキシブルに行う予定[[設備/新潟県](#)]

市内教育施設に対して更に快適環境を提供していきます。[\[設備/滋賀県\]](#)

10 年以上続いた活動ですので、今後とも教育委員会の協力を得て実施を続けていく予定です。[\[設備/和歌山県\]](#)

継続事業として今後とも活動をしていく[[その他/宮城県](#)]

全瓦連青年部の交流事業計画を継続する[[その他/茨城県](#)]

来年も授業の一環でお願いしますと言われるれば断ることは出来ない。[\[その他/東京都\]](#)

瓦屋根施設の無料点検[[その他/富山県](#)]

「ものづくりフェア」は継続。[\[その他/三重県\]](#)

現在行っているイベントを継続開催[[その他/大阪府](#)]

今後は高校生のみならず、いろんな世代に屋根に感心を持ってもらえるよう活動を続ける。[\[その他/和歌山県\]](#)

インターンシップの受け入れを積極的に学校へ働きかけ定着させる[[その他/島根県](#)]

教育機関への出張講座[[その他/広島県](#)]

ビジネスカレッジから来年もお願いしますとの要請があった[[その他/香川県](#)]

高校、専門学校、訓練校への体験学習。[\[その他/徳島県\]](#)

インターンシップを継続し、若手を受入れる門戸としたい[[その他/愛媛県](#)]

学校、行政機関に働きかけ瓦のガイドライン化のアピールにつなげたい[[その他/高知県](#)]

惜しむ事なく情報の公開と積極的な参加またお手伝い[[その他/福岡県](#)]

年 2 回でやっていく予定[[その他/宮崎県](#)]

立哨中心で、そのほかにも地域のお祭りにも参加していきたい[[その他/鹿児島県](#)]

市町村等を通して[[その他/沖縄県](#)]

インターンシップや要請に対しては協力していく[[その他/北海道](#)]

アンケート調査票

専門工事業の地域における教育活動に関する実態調査

(一社)建設産業専門団体連合会

○本アンケートは、当会のホームページである「職人さんミュージアム」※における「地域への貢献活動」の中で「子どもの健全育成・学校支援に関する活動」に事例を掲載頂いた方、ホームページには掲載されていなくとも貴所属団体より情報提供頂き、同様の取組を行われている企業・団体様を対象とするものです。

※「職人さんミュージアム」<http://www.kensenren.or.jp/museum/>

- 本票の「教育活動」とは、地域の社会教育・学校教育活動を意味します。いわゆる実習、講座、見学会の開催など啓発要素の強い活動にとどまらず、専門工事業に親しんでもらうための各種イベントの開催や、児童・生徒・学生の通常教育の応援なども含めています。
- 本票では、ご回答者様のことを「貴社」と記載しておりますが、ご回答者様が団体である場合は「貴団体」と読み替えてお答え下さい。
- ご回答頂いた内容は、専門工事業の地域貢献活動等の実態把握、及びそのPR活動の資料としてのみ使用し、当会のHP「職人さんミュージアム」に掲載させて頂く予定です。
- ご多忙のところ誠に恐縮ですが、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

○記入方法および提出期限

- ・選択肢のある設問は、あてはまる項目に○をご記入下さい。
- ・記入欄のある設問は、枠の中に文章でご記入下さい。

提出期限

**平成 26 年 10 月 24 日(金)までに
FAX で提出してください。**

返信先 FAX:03-5425-6806

調査実施・お問い合わせ先

(一社)建設産業専門団体連合会

事務局 鮫島(さめじま)

〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-2-12 虎ノ門4丁目MTビル2号館3階

TEL:03-5425-6805 | FAX:03-5425-6806 | E-Mail:samejima@kensenren.or.jp

まずは貴社の最新状況についてお知らせ下さい。

所属団体			
貴社名			
所在地	都・道・府・県		市・区・町・村
資本金	万円	従業員数	名
ご記入者		部署、役職名	
TEL		E-mail	

※「所属団体」には、調査票配布先の団体・機関様をご記入してください。

貴社の取組概要について

問1 現在、貴社が取組んでいる教育活動はどのような種類のものですか（〇はいくつでも）。また、取組んでいる活動が複数ある場合は、その中でもっとも力を入れている活動ひとつは◎としてください。

1. 施設・工事現場見学会等の実施
2. 職場体験・インターンシップの受け入れ
3. 講師の派遣・出前講座の実施
4. イベント等の実施（体験教室、コンテストの実施等）
5. 寄付・経済的支援（イベント等への寄付、作業協力等）
6. 学校等で使用する教材の提供（教材用冊子、講習用資材等）
7. 通学時の誘導・安全確保
8. その他（具体的に：

問2 問1の教育活動はどのような年齢層を対象としていますか。該当するものに○をつけてください。
(○はいくつでも)

1. 小学生
2. 中学生
3. 高校生
4. 大学生、専門学校生
5. 教職員、保護者

個々の活動内容について

問3 問1でお答え頂いた教育活動の名称や内容について具体的にご記入ください。

なお、複数の活動に取り組まれている場合は、本調査票の P3-4 を活動している数だけコピーし、各活動について回答して下さい。

活動の名称	
実施時期	
活動内容	活動の内容やテーマ、参加者層、参加者数、反響・効果など
次回実施予定	

以下の設問は、問3でお答え頂いた教育活動についてお聞きします

問4 教育活動に取り組んだきっかけ・理由は何でしたか。(〇はいくつでも)

1. 建設業・専門工事業の役割や仕事内容を知ってもらう
2. 企業・業界のイメージアップ
3. 従業員のモラル向上、社内活性化
4. 学校や地域とのコミュニケーション
5. 将来に向けての若手人材確保対策
6. 新たなビジネスチャンスにつながる
7. 経営者のこだわり、方針
8. その他（具体的に：

問5 教育活動はそもそもどのようなにはじまりましたか。(○はひとつ)

1. 自発的にはじめた
2. 他社から誘われてはじめた
3. 所属する団体等からの要請によりはじめた
4. その他（具体的に：_____）

複数の活動に取り組まれている場合は、調査票の本頁と次頁をコピーし、個々の活動毎に、ご回答ください。

問6 教育活動を行うための資金はどのように工面しましたか。(○は最も主要なものひとつ)

1. 自己で負担
2. 団体等からの支援
3. 相手先(受入先等)が負担
4. 助成金等の活用(助成金の名称:)
5. その他(具体的に:)

問7 教育活動を取組む場合にどのような点が課題となっていますか。(○はいくつでも)

1. 社内の合意形成が難しい
2. 学校側との調整や連携が難しい
3. 予算がかかる
4. 手間・時間がかかる
5. 情報やノウハウが少ない
6. 安全面への配慮
7. 連携できる団体がない、又は少ない
8. 社会的意義を感じるのが難しい
9. 魅力的なプログラムを作るのが難しい
10. その他(具体的に:)
11. 特になし

問8 問7に関連して、これらの課題の解決のために講じた措置・工夫等があればご記入ください。

<例>

・取組に係る業務の手間を減らすために、○○○の工夫を講じた／社内コンセンサスを得るために、具体的メリットを明確にした。／実施する時期や期間に工夫を講じた。／学校に対して積極的な協力を依頼した。／行政に協力を依頼した。／助成金などを活用した。など。

複数の活動に取り組まれている場合は、調査票の前頁と本頁をコピーし、個々の活動毎に、ご回答ください。

活動を続ける際の課題、今後の予定等について

問 9 今後、教育活動を持続させるため(または拡大させるため)に必要と思われることは何ですか。(○はいくつでも)

1. 学校や教員等の賛同、協力
2. 行政や地域の賛同、協力
3. 同業者、業界団体等の賛同、協力
4. 社員の協力
5. 活動に対する資金等の援助
6. 表彰や総合評価方式の評価点アップなど、活動に対する積極的な評価
7. その他(具体的に:)

問 10 今後、教育活動を含めた地域貢献活動に対して、貴社はどのように取り組んでいく予定ですか。(○はひとつ)

1. 今後も継続していく予定
(具体的に:)
2. 今後是不行わない予定
(行わない理由:)
3. わからない

問 11 新たに教育活動や地域貢献活動に挑戦しようとする企業に対して、参考となる情報やアドバイス、成功・失敗事例、留意点などがあればお書きください。

質問は以上です。お忙しい中ご協力ありがとうございました。

お願い

- ご回答頂いた内容について、建専連事務局から電話などで追加取材させて頂くことがあります。その際は可能な範囲でご協力頂ければ幸いです。
- また、取り組みの概要がわかる写真、印刷物等がございましたら、お手数ですが、そのコピーなど内容をお送り頂けると幸いです。